

菊 Mum

豊富なバリエーションが特徴のオールラウンダー

古くから日本人に親しまれてきた菊は、花持ちや発色がいいため、お祝いごとや仏事のほかに、普段から飾っても楽しい花のひとつです。JA秋田なまはげではお盆と彼岸の需要期をメインに、例年11月頃まで出荷しています。



“菊”とひとえに言っても、種類は様々。

どんな場面でも活躍する幅の広さが魅力です！



輪菊



小菊



スプレー菊



デイスバッドマム

こんな花も菊です！



“デイスバッド”とは？

“ディス(dis)”は「取り除く」という意味で、“バッド(bud)”は「芽」「つぼみ」を表します。脇芽を除いてひとつの花に栄養を集中させ、大きな一輪を仕立てています。

“輪菊”と“デイスバッドマム”、“小菊”と“スプレー菊”の違いって？

一輪仕立ての“輪菊”“デイスバッドマム”と、小さい花がたくさんついた“小菊”“スプレー菊”。なかには姿がそっくりな品種もありますが、輪菊と小菊は日本菊で、デイスバッドマムとスプレー菊は洋菊の系統です。輪菊と小菊はつぼみの状態で出荷し、デイスバッドマムとスプレー菊は咲いた状態で流通するのが一般的です。



JA担当の
意気込み！

品質の維持と収量のアップに努めています。1本でも多く良いものを出荷して生産者の所得につながるように、尽力していきます！

男鹿地区営農センター 菊担当 太田 雅樹

